

～市民活動支援センター通信 第39号～

# 市民活動・ボランティアだより



市民活動支援センターは、平成23年10月に開設以来、市民活動団体の活動拠点として利用していただくほか、市民活動に関する情報提供や啓発に努めています。

この通信は、センターが主催する事業の紹介をはじめとした、様々な市民活動情報を発信しています。

令和4年5月発行

発行・問い合わせ 所沢市市民活動支援センター  
〒359-1111 所沢市緑町3-16-7新所沢コミュニティセンター1F  
TEL:04-2968-8391 FAX:04-2968-8392

## 市民活動支援講座「新たな担い手づくりのヒント」

開催報告

市民活動や自治会・町内会活動において、高齢化は切実な問題です。活動を継続していくために新たなメンバーをどのように増やしていくかは、多くの団体の共通の課題となっていると思います。

そこで、令和4年3月19日(土)、こどもと福祉の未来館において、市民活動支援講座「新たな担い手づくりのヒント」を開催しました。

講師はNPO法人CRファクトリー認定インストラクターの間藤 大輔氏。団体のメンバーを増やすためのプロセスや考え方などをテーマに講義を行っていただきました。

前半では、コロナ禍においてリアルなイベントやミーティングがやりづらくなったことにより、メンバー固定化・高齢化の問題が一層浮き彫りとなったことなど説明がありました。また、ハイブリッド運営(リアルとオンラインの両方を用いた運営)の必要性も取り上げられました。

後半では団体に新たな仲間を巻き込む3つのステップ(興味・愛着・主体)について、それぞれどのような視点・取り組みが必要かについて、説明がありました。

講座全体を通して個人ワーク・グループワークを交えながら展開し、その都度グループ内で意見を共有しながら話が進みました。

最後に質疑応答があり、終了となりました。

参加者からは、「コロナ禍だからできないと甘んじていたところがありました。今までの活動を維持するだけでなく、新分野の活動を考えたいと思いました」「講座を受けて新たな担い手をさぐるヒントを得たいと思ってきましたが、ヒントは自分にある、一生懸命考えることが重要だと感じました。」など、多くの声が寄せられました。



▲皆さんにとって、担い手づくりは重要なテーマ!講師の話をしっかり聞いてもらいました。

質疑の様子▼



# 所沢市民活動見本市を開催しました

令和4年2月16日(水)～18日(金)の3日間、市役所1階の市民ホールにて、「所沢市民活動見本市」を開催しました。

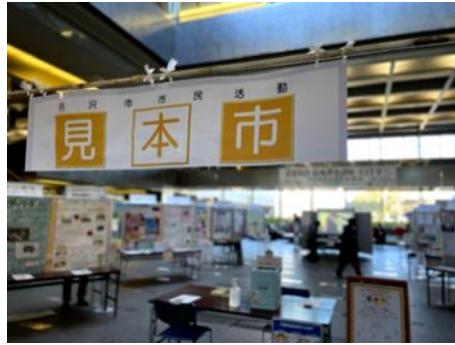
このイベントは、所沢市内で活躍する市民活動団体を紹介するイベントで、令和2年度は開催中止となっていました。令和元年度以来、2年ぶりの開催！26の市民活動団体に参加していただきました！

見本市では、団体を紹介するパネルと、動画コーナーを設置しました。どちらも団体の方々の自作のもので、工夫を凝らした個性豊かな展示となっていました。

このイベントをきっかけに団体を知る方も多く、各団体の展示物やパネル前で配架しているチラシを手に取り、興味津々にご覧になる方が多かったです。

今回の見本市はまん延防止重点措置期間と重なったため、残念ながら、説明員を配置せずに展示のみとなりました。それでも、配架しているチラシの補充をしたり、イベント後に来場者から団体に連絡があったりしたようです。

3日間で825名もの方にご覧いただくことができ、手ごたえの感じられるイベントとなりました！



▲ハの字型レイアウトは見やすいと好評



▲動画コーナーに釘付けになる方も



▲団体のパネル前にはチラシを配架



▲地域づくり協議会や自治会・町内会のパネル展示も初登場！



▲どの団体も工夫が目立つ展示でした

## 冊子「所沢の市民活動」を改訂します！

見本市でもお配りした市内の市民活動団体を紹介する冊子「所沢の市民活動」を今年度、改訂します！

市民活動に参加してみたい、どんな団体があるのか知りたいなど、団体のことが分かる冊子です。また、市民活動支援センターがどういったところなのか、登録すると何ができるのかも掲載しているので、登録を考えている団体の方もぜひ読んでいただきたい冊子となっています。

冊子は施設やイベント時に配架を行います。完成は少し先になりますが、どうぞお楽しみに！



▲こちらは令和2年度改訂版です



▲活動内容や写真に加えてURLなども記載